UENO Toshihiko;　uenot_gosudarstvo@yahoo.co.jp;　http://www.geocities.jp/collegelife9354/index.html

「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1」レポート課題

1. 提出期限

2017 年 6 月 26 日（月）「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1」の授業時。6 月 26 日の授業時以前に提出する場合は、2 号館 7 階エレベーターホールにある上野のメールボックスへ投函するものとする。

2. レポートの内容

2016 年 7 月 1 日以降に公表されたロシア・ユーラシア地域（旧ソ連地域）の歴史または現代政治、あるいは日本との関係に関する報道を 1 つ（必要に応じて複数）取り上げ、それに対するコメントを書く。

コメントは、報道の真偽、報道の仕方、すなわち報道の客観性・中立性または恣意性、報道（記事作成者）の意図、報道（記事作成者）のステレオタイプ（型にはまった考え方）またはバイアス、見出しと報道内容の不一致などに対するコメントとする。報道されている事件・事実関係そのものに対するコメントではない。

そして、たんなる感想ではなく、問題点・疑問の指摘、批判的視点、いわゆる「突っ込み」などがあることが望ましい。また、長ければよいというわけではない。

たとえば、以下のようなコメントが一例として考えられる。

(1)本記事の見出しである「プーチンの野望」および記事本文における「ロシアは虎視眈々と中東進出を狙っている」といった表現には、記事作成者の悪意やロシアに対する否定的感情が反映されており、報道の中立性や客観性を損なうものである。

(2)見出しで「露 政権批判強まる」とあるが、本文を見る限り、反政府デモが実施されたという事実が報道されているだけで、どのくらいの数の国民が政権に対して批判的なのかを示す世論調査などの客観的材料が提示されておらず、見出しから受ける印象と記事本文の内容との不一致が感じられる。なお、筆者がロシアの世論調査（[ここにアドレス記載]）を調べた限りでは、記事掲載時、プーチン政権に対して批判的な国民は 20%程度と少なく、しかも前年同期よりも批判的な国民の比率は低下していることから、本記事の見出しは読者をミスリードするものである。

(3)「プーチン大統領 森林火災被災者に対し細やかな対応」という見出しの本記事は、2016 年 7 月下旬にモスクワ州イストラ市で起きた大規模森林火災の被災者をプーチン大統領が慰問した様子を報道したものであるが、当該森林火災の原因やそれに対する行政の今後の対策、具体的な被災者支援策などについて何も伝えておらず、たんなるプーチン大統領個人の宣伝記事になってしまっている。

3. 取り上げる報道の媒体・言語

取り上げる報道は、紙媒体のほか、Web 上で公開されているものでもよい。ただし、Web 上で公開されている報道については、個人のブログ等と見分けがつかないものもあるので、①新聞・雑誌等の紙媒体を発行している新聞社・出版社、②テレビ・ラジオ等の放送をおこなっている放送局、③新聞社等にニュースの配信を行っている通信社（たとえば、ロイター、UPI、時事通信、共同通信など）、の運営する Web 版ニュースに限定する。

取り上げる報道の言語は、日本語、英語、ロシア語のいずれかとする。

4. 執筆要領

(1)体裁：白色 A4 用紙を用いる。必ず左上をステープラーで綴じる。

(2)使用言語：日本語とする。ただし、固有名詞など一部分に英語またはロシア語を使用するのはかまわない。

(3)内容

①用紙 1 枚目

ワープロ横書き、40 字×40 行とする。1 行目左揃えで「ロシア・ユーラシア地域研究入門 1 レポート」と書き、2 行目左揃えで学生番号と名前を書き、3 行目から、取り上げた報道に対するコメントを書く。

コメントは、最大で 40 字×38 行（1520 字）とする。つまり、表題、学生番号、名前、コメントをすべて 1 枚に収めること。

②用紙 2 枚目（複数枚にわたる場合は 2 枚目およびそれ以降）

取り上げた報道のコピーとする。

報道のコピーに、報道の出所である新聞社名（出版社名、放送局名、通信社名）、日付、アドレス（Web の場合）を明記すること。

コピーが A4 サイズよりも大きい場合は A4 サイズに折りたたむこと。

Web ニュースについては A4 用紙にそのままプリントアウトしたものを添付すればよい。

以上